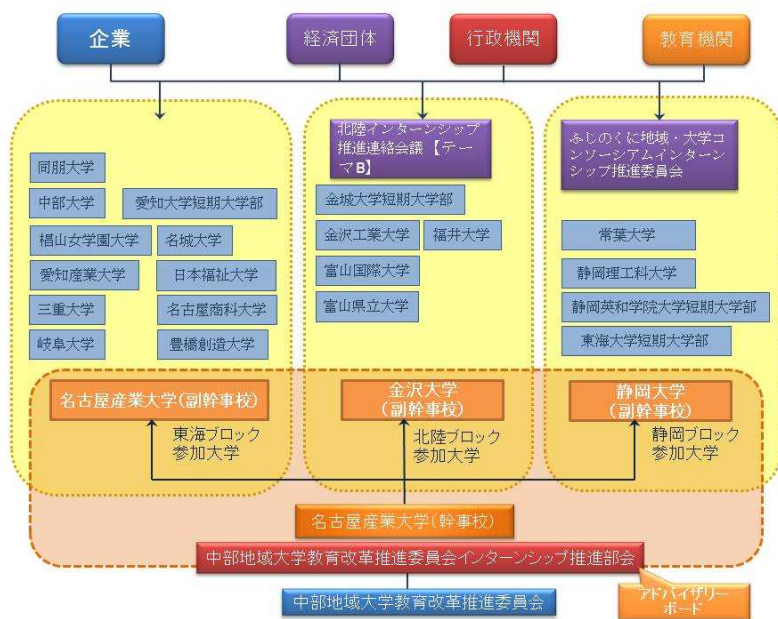


「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」
 「大学教育再生加速プログラム（インターンシップ等を通じた教育強化）」
 最終評価結果

大学グループ名	中部地域大学グループ
取組名称	中部圏における産学連携教育（インターンシップ）の推進と普及
地域インターンシップ推進組織名	中部地域大学教育改革推進委員会インターンシップ推進部会
取組担当者	名古屋産業大学 教授 石橋健一
連携校名（★幹事校）	金沢大学、福井大学、岐阜大学、静岡大学、三重大学、富山県立大学、椋山女学園大学、同朋大学、名古屋商科大学、日本福祉大学、名城大学、金沢工業大学、中部大学、富山国際大学、静岡理工科大学、愛知産業大学、豊橋創造大学、常葉大学、★名古屋産業大学、東海大学短期大学部、愛知大学短期大学部、金城大学短期大学部、静岡英和学院大学短期大学部（計23校）
連携したインターンシップ等支援組織等名（団体名・企業名等）	【経済団体、NPO法人等】 【地域経済団体等】愛知中小企業家同友会、岐阜県経営者協会、中部IT組合、富山県経営者協会、石川県中小企業団体中央会、福井県経営者協会、I Love しずおか協議会、一般社団法人静岡県経営者協会、静岡県中小企業家同友会 【大学コンソーシアム等】公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム 【自治体等】石川県、ジョブカフェ石川、静岡市、浜松市 【企業】アール・ビー・コントロールズ（株）、（株）システムサポート、三谷産業（株）、税理士法人宮田会計、よろづや観光（株）、藍澤證券株式会社、浜松信用金庫、遠州鉄道株式会社、有限会社春華堂

事業概要



中部地域の課題となっている大学と企業との対話、ならびにインターンシップを促進するための専門人材の不足に対応するため、以下の2つの取り組みを東海、北陸、静岡の各ブロックにて行う。

1) インターンシップを推進するための専門人材の要件を明らかにし、専門人材養成プログラムを試行することで、インターンシップ専門人材の養成を進める。

2) インターンシップに関わるステイクホルダー（大学、企業、経済団体、行政機関、教育機関等）が参加するフォーラル及びインフォーマルな情報交換会を開催し、普及することで、大学と企業の対話を深化させる。

最終評価結果＜総合評価＞ A

《コメント》

地域の特性を考慮すれば、東海・北陸、静岡の3ブロックに分けて進めた点は現実的であり、それぞれのブロック毎に特性を生かした取組が実施され、全体での情報共有も進められた。特に、専門人材の要件抽出や、危機管理に関する研修会、大学と産業界の対話の促進等を通じて、中部地域全体の専門人材の養成を組織的に推進した点が評価できる。また、「インターンシップ失敗事例ミニハンドブック」や「危機管理マニュアル」は他の地域の参考となる具体的な内容が記載された成果物であり高く評価する。

一方で、ブロック毎の取組に留まっており、ブロック毎の成果のばらつきも大きいと、地域全体として協働しているとは感じられず、連携組織としての具体的な成果が見えなかった点は課題である。また、十分な評価体制が構築できておらず、インターンシップの内容や方策と成果のつながりが分かりにくいと、評価体制を明確にする必要がある。

中部圏全体という広域であるため、全体での協働は難しい部分があるものの、産業基盤の強固な中京圏、伝統産業に支えられる北陸圏など地域特性を生かし、今後も3ブロックの相互交流を通じて連携体制の強化に努め、専門人材の育成に努められたい。